**令和３年度　知的財産経営ハンズオン支援事業　応募内容下書シート（手元控え） -**

**（当該シートを用いて下書きをして、下記の専用ページにて内容を転記してご応募ください）**

本事業への応募は、中部経済産業局の「専用ページ」からのみ受付けます。

１０月１日（金）17：00までに応募を済ませるようにしてください。

※本用紙の提出による応募はお受けいたしかねますので、ご理解・ご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

【応募ページ】<https://www.chubu.meti.go.jp/b36tokkyo/sesaku/hands_on/03fy/hands_on.html>

【必須回答】支援内容について

１　対象とする事業について

（ⅰ）「ハンズオン支援事業を通じて成長させたい事業」の「**実施状況や予定状況**」

|  |  |
| --- | --- |
| 1. 現在実施中。 |  |
| 2. 近々実施する計画がある。 |  |
| 3. 実施について検討中。 |  |
| 4. 今後検討する予定がある。 |  |

（ⅱ）「ハンズオン支援事業を通じて成長させたい事業」の「**概要（現在の事業内容、将来構想）**」

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **＜現在の事業内容＞** |  | **＜将来構想＞** |

２　希望する支援内容について

（ⅰ）「ハンズオン支援事業を通じて成長させたい事業」に関する「**課題（悩みごとや困りごと）**」

|  |
| --- |
|  |

（ⅱ）**希望する支援コース**（該当するもの全てに〇）　　　（ⅲ）**目指したい成果**（該当するもの全てに〇）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **Ａ. 知財戦略構築コース** |  |  | 1.価格設定を有利に進めたい |  |
| **・社内体制の整備** | 2.他社参入(模倣品含む)を防ぎたい |  |
| **・知財での新たなビジネス創出　　など** | 3.自社製品を安定・継続して販売したい |  |
| **Ｂ. ブランド戦略検討コース** |  | 4.技術力の証明など信用力を向上させたい |  |
| **・自社ブランドの設計** |  | 5.新規顧客開拓につなげたい |  |
| **・自社ブランドの発信　　　　　　など** | 6.知名度向上など対外的なＰＲを図りたい |  |
| **Ｃ. 知財リスク対策コース** |  | 7.技術や商品などのブランド向上を図りたい |  |
| **・ノウハウ・データの保護** |  | 8.融資など資金調達を円滑にしたい |  |
| **・海外展開における知財リスク対策** |  | 9.自社知財をライセンス貸与したい |  |
| **・契約における知財リスク対策　　など** |  | 10. 他社知財をライセンス利用したい |  |
| Ⅾ**. モノ・コトの知財ビジネスコース** |  |  | 11.その他  **（**　　　　　　　　　　　　　　　　　　**）** |  |
| **・特定製品・サービス・技術・事業の** |  |
| **知財戦略の構築** |  |  |
| **・海外展開の企画・開発支援　　　など** |

(ⅱ)(ⅲ)の内容も参考にご記入下さい

（ⅳ）**専門家に希望する支援内容（※1,2）**

|  |
| --- |
|  |
| ※１：基本的に専門家の支援は「助言」の範囲内になりますこと、予めご了承ください。  ※２：事業成長に向けて複数の支援事項が想定される場合、複数を表記頂いても構いません。  採択時には、貴社と協議の上、支援事項を決定させていただきます。 |

３　課題を解決したい「**スケジュール感 又は 緊急度**」（例：１年以内に課題解決を図りたい　など）

|  |
| --- |
|  |

４　現在想定する「**採択時の体制（責任者やチームメンバー）**」や、「**経営層の関与有無**」を教えてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | はい | いいえ | その他 |
| 1. 経営者や経営幹部は関与できますか。 |  |  | （　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 2. チームメンバーは特定できていますか。 |  |  | （　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

５　Web会議の使用可否（採択後、状況に応じてWEB会議を利用する可能性があります）（該当するもの全てに○）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 1. Teamsを使用可能 |  |  | 2. Zoomを使用可能 |  |  |  |  |
| 3. その他（　　　　　　　 　　） |  | 4. 採択後に利用検討 |  | 5. 使用不可 |  |

６　知的財産権の取得意向　（※特許権・実用新案権・商標権・意匠権、等）

|  |  |
| --- | --- |
| 1．知的財産権を取得・活用することが自社ビジネスに有用と思われる場合、権利化を前向きに検討できる。 |  |
| 2．自社の組織風土・慣行から、知的財産権の取得に関して、検討を行うことは想定されにくい。 |  |

【必須回答】貴社概要

①設立年　 　　　　　年

②従業員数 　　　　　人

③資本金　 　　　　　万円

④売上高　 　　　　　万円

⑤売上高の推移

（直近5年貴社の売上高の推移）

|  |  |
| --- | --- |
| ↗ 増加傾向  （年平均３％以上増加） |  |
| → 横ばい傾向  （年平均±３％未満） |  |
| ↘ 減少傾向  （年平均３％以上減少） |  |

⑥保有する知的財産権

|  |  |
| --- | --- |
| 特許権 | 件 |
| 実用新案権 | 件 |
| 意匠権 | 件 |
| 商標権 | 件 |

⑦業種　※あてはまるものに○を付けてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1次産業 | 1. 農林水産業 |  |
| 2次産業 | 2. 鉱業、建設業 |  |
| 3. 食品製造業 |  |
| 4. 繊維・パルプ・紙製造業 |  |
| 5. 医薬品製造業 |  |
| 6. 化学工業 |  |
| 7. 石油石炭・プラスチック・ゴム・窯業 |  |
| 8. 鉄鋼・非鉄金属製造業 |  |
| 9. 金属製品製造業 |  |
| 10. 機械製造業 |  |
| 11. 電気機械製造業 |  |
| 12. 輸送用機械製造業 |  |
| 13. 業務用機械器具製造業 |  |
| 14. 上記以外の2次産業 |  |
| 3次産業 | 15. 情報通信業 |  |
| 16. 卸売・小売等 |  |
| 17. サービス |  |
| 18. 教育 |  |
| 19. 上記以外の3次産業 |  |

⑧貴社ホームページ等のURL

|  |
| --- |
|  |

【必須回答】知的財産経営ハンズオン支援事業を知った先 (該当するもの全てに〇)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 1. 中部経済産業局ホームページ |  | 5. 他企業からの紹介 |  |
| 2. チラシ |  | 6. 専門家からの紹介 |  |
| 3. メールマガジン |  | 7. その他**（**　　　　　　　　　　　　　　　　　**）** |  |
| 4. 支援機関からの紹介 |  |  | |

【必須回答】担当者連絡先　　※内容について後日問合せをさせていただくことがございます。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 貴社名 |  | | 記入者役職 |  |
| 記入者部署 |  | | 記入者氏名 |  |
| 所在地 | 〒 | | | |
| 電話 | （　　 　） 　　－ | メールアドレス | |  |

【必須回答】ご了承いただきたい事項　（それぞれ〇を記入）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 本事業終了後、中部経済産業局から、アンケートやヒアリングを年に一度行わせていただく場合があり、ご協力をお願い申し上げます。 | 了承する |  |
| 本事業での支援活動を、支援事例にとりまとめ、公表することをご了承ください。  （機微な情報を除外し、貴社に内容確認いただいた上で、原稿を作成します。） | 了承する |  |
| 反社会的勢力に関して非該当・無関係である場合、その旨の宣誓をお願いします。 | 宣誓する |  |

【任意回答】知財の取得・管理について（あわせて、アンケートにもご協力ください）

1. 貴社の知財担当者数について、該当するもの１つに○を付けてください（①②については数字を記入）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1. 担当者はいない（経営者は除く） |  | 凡例   1. 知財部署に所属する方。知財関連の業務が大半を占める方。 2. 知財関連の業務も担当するが、他の業務も行っている方。 |
| 2. 担当者がいる　（経営者は除く） |  | ①専任担当者 | 人 |  |
| ②兼任担当者 | 人 |  |

問２　知的財産に対する、経営層の意識について、あてはまるものに○を付けてください。

|  |  |
| --- | --- |
| 1. 知的財産の創出・活用に関与している |  |
| 2. 知的財産を創出・活用する意識はある |  |
| 3. 知的財産の創出・活用への関心は低い |  |

問３　経営における知的財産の位置づけについて、あてはまるもの全てに○を付けてください。

|  |  |
| --- | --- |
| 1. 経営戦略・事業戦略にて位置づけ・言及がある（方針・目標・計画など） |  |
| 2. 技術開発戦略にて位置づけ・言及がある（方針・目標・計画など） |  |
| 3. 知財に関する戦略、計画を別途準備している |  |
| 4. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 5. 特に位置づけはない |  |

問４　貴社で実施している「知的財産に関する取組」として、実施しているもの全てに○を付けてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 1. アイデアや知財の創出を促進する、社内への啓発活動(セミナー、勉強会等) |  | 10. J-PlatPat等を利用した、既存のアイデア・知的財産権（技術・デザイン・商品名等）の調査 |  |
| 2. Off-JT（社外セミナー、Web講座、等）での  発明・創造スキルに関する教育の実施 |  | 11. 技術や営業のノウハウのマニュアル化 |  |
| 12. 営業秘密（ノウハウ等）管理ルールを制定 |  |
| 3. 知財の創出・活用に繋がる資格取得の推奨（例：知財管理技能士） |  | 13. ロゴや商標の運用ルールを制定 |  |
| 14. 知財の帰属ルール (職務発明規定) を制定 |  |
| 4. 職務分掌、個人目標設定、役職名・肩書名、などを工夫し、アイデアや知財の創出を促進 |  | 15. 共同開発・開発委託・製造委託において、  自社知財の流出に注意して契約を締結 |  |
| 5. アイデアや発明の提案書式の整備 |  | 16. 秘密保持に関する文書を適宜締結（NDA等） |  |
| 6. アイデア数や出願数等の数値目標を設定 |  | 17. 模倣や侵害に対する注意・監視を実施 |  |
| 7. アイデア（発明・改善）を社内共有する機会 |  | 18. 模倣や侵害に対する対抗措置を事前想定済 |  |
| 8. アイデア創出・知財創出への表彰・報償制度 |  | 19. HP等で知財が権利登録済みであることを明示中 |  |
| 9. 社外人材も活用したアイデア創造（共同開発、ロゴ・包装・HPデザインの外注、等） |  | 20. その他  **（**　　　　　　　　　　　　　　　**）** |  |

問５　貴社で活用の経験がある、「知的財産に関する外部の専門家（知財専門家）」について、

該当するもの全てに○を記入してください。（過去5年間）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 1. 弁理士（自社で雇用） |  | 8.デザイン専門家 |  |
| 2. 弁理士（社外を活用） |  | 9.海外展開専門家 |  |
| 3. 弁護士 |  | 10.金融専門家（金融機関） |  |
| 4. 中小企業診断士 |  | 11.知財総合支援窓口（支援担当者） |  |
| 5. 経営コンサルタント |  | 12.公的研究機関（公設試等） |  |
| 6. 技術コンサルタント（技術士等） |  | 13.その他**（　 　　　　　　　　）** |  |
| 7. ブランド専門家 |  | 14.専門家の活用は行っていない |  |